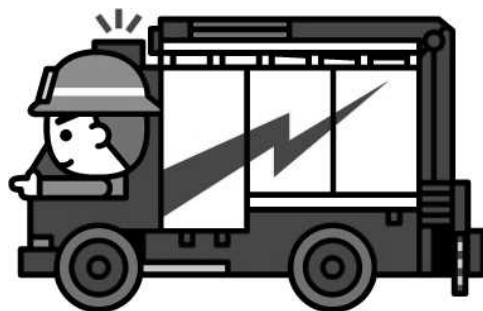


救

助



救助活動の概要

令和7年中の救助出動件数は、269件で前年に比べ27件の増加となっています。

事故種別による出動件数は、建物等による事故が117件、その他の事故が91件、交通事故が24件、火災が23件、水難事故が12件、ガス及び酸欠事故が2件となっています。

活動件数は、231件で前年に比べ22件の増加(救助出動件数に対する活動件数の率は、85.9%)となっています。

また、被救助人員は、201人で前年に比べ9人の増加となっています。建物等による被救助人員が116人で全体の57.7%を占め、その他の事故による被救助人員が39人で全体の19.4%となっています。

地区別救助出動件数では、睦合地区が61件で最も多く、厚木地区が47件、南毛利地区が45件と続いています。

1 救助出動状況調

(1) 救助出動件数

(令和7年中)

区分 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害等 自然災害	建物等	ガス及 び酸欠	その他	計
出動件数	23	24	12	－	117	2	91	269
延べ出動隊員数	746	415	232	－	1,575	36	1338	4,342
活動件数	23	13	12	－	108	2	73	231
延べ活動隊員数	207	130	183	－	742	17	629	1,908
被救助人員	4	31	8	－	116	3	39	201

(2) 地区別救助出動件数

(令和7年中)

区分 \ 地区別	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	清川	東名高速	応援等	計
火災	6	4	3	2	1	－	3	3	1	－	－	23
交通事故	1	6	1	3	－	2	4	1	3	3	－	24
水難事故	1	1	1	－	1	－	－	1	5	－	2	12
風水害等自然災害	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
建物等による事故	17	17	41	4	5	5	25	3	－	－	－	117
ガス及び酸欠事故	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	2
その他 (山岳)	22	6	14	13	4 (2)	2 (1)	12 (1)	10	7 (3)	－	1	91 (7)
計	47	34	61	22	11	9	45	18	16	3	3	269

※ 東名高速の件数については、市内件数を含める。

※ 新東名高速道路上の出動件数については、東名高速に含む。

(3) 消防相互応援件数（救助）

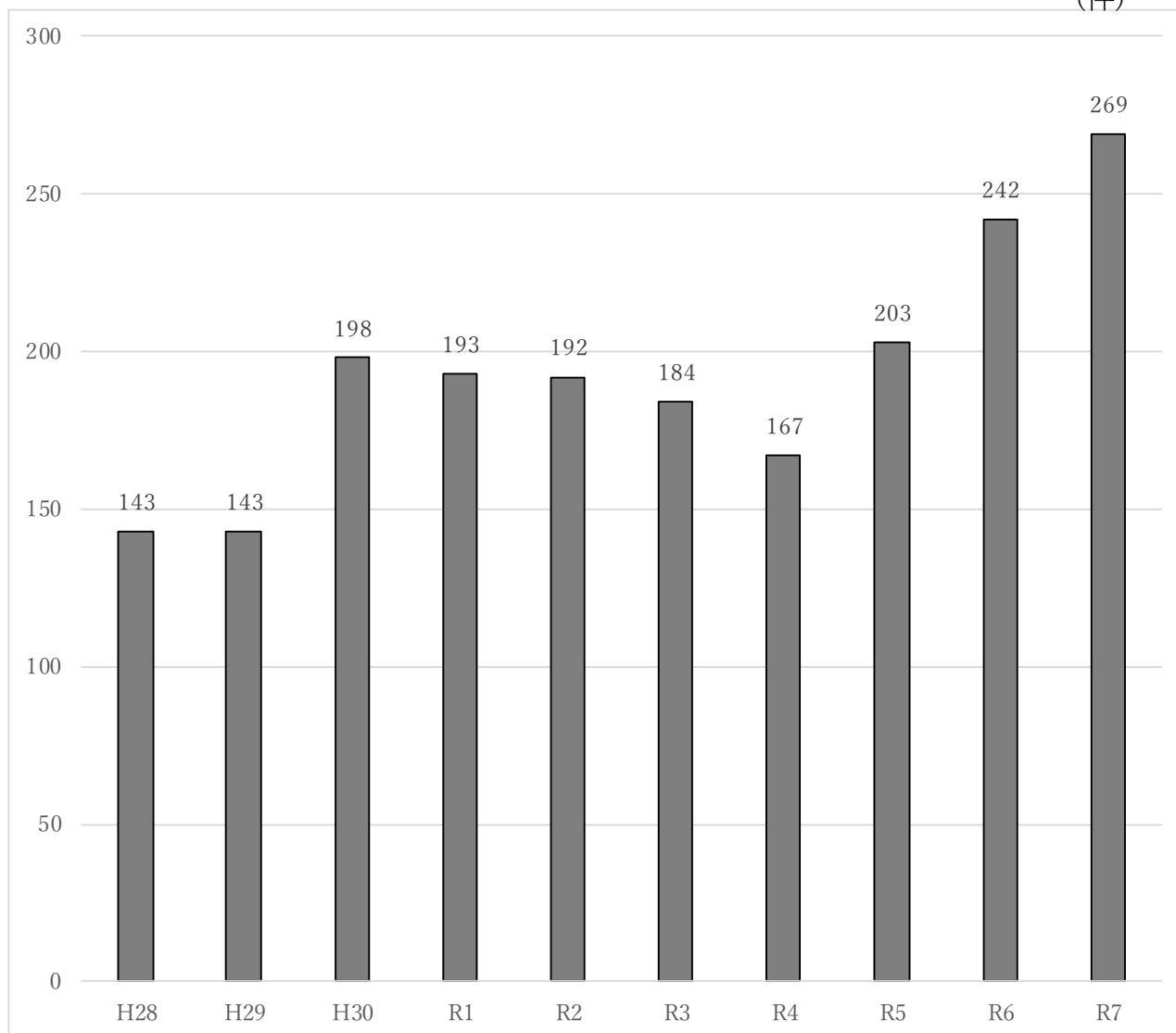
（令和7年中）

区分 \ 応援市町村	横浜市	相模原市	海老名市	伊勢原市	座間市	秦野市	愛川町	寒川町	計
応 援	-	2	1	1	-	-	1	-	5
東名高速	-	-	-	1	-	-	-	-	1
受 援	-	-	3	1	-	-	-	-	4
東名高速	-	-	-	1	-	-	-	-	1

※ 新東名高速道路上の出動件数については、東名高速に含む。

(4) 救助出動の推移

（件）



(5) 主な人命救助活動

(令和7年中)

発生日	時 分	種 別	事故概要及び活動状況	使用資機材
2月24日	(覚 知) 5時51分 (救 出) 6時09分 6時28分	交通事故	大型貨物自動車と牽引貨物自動車の衝突事故により、両車両の運転手の下腿部が挟まれており、脱出不能となったもの。 車内に進入後、座席を後方に移動させ、バックボードに収容し1人目の要救助者を車外へ救出する。 その後、大型油圧救助器具及び車載ウィンチを使用してキャビンを拡張、バックボードに収容し、2人目の要救助者を車外へ救出する。	1 車載ウィンチ 2 大型油圧救助器具
3月9日	(覚 知) 11時09分 (救 出) 16時28分	その他の事故 (山岳)	団体19人が登山道を通途中に1人が木の根に足を滑らせ、斜面を約70メートル滑落したもの。 要救助者を目視で確認したため、救助隊員2人が進入し担架に収容後、登山道まで救出する。川崎市消防局航空隊を要請し、消防ヘリに揚収、清川村消防訓練場にて救急隊に引継ぎ、救出活動を終了する。	1 ロープ 2 山岳救助器具 3 パーティカルスツレッチャー
9月14日	(覚 知) 5時19分 (救 出) 6時26分	交通事故	普通乗用車の単独事故により擁壁に衝突後、クッションドラムに乗り上げていた事故で、運転手が脱出不能となったもの。 車載ウィンチ及びクレーンを使用して事故車両を移動後、大型油圧救助器具及び可搬式ウィンチを使用して、挟まれ箇所を拡張及び切断後、要救助者をバックボードに収容し、車外に救出する。	1 車載クレーン 2 車載ウィンチ 3 大型油圧救助器具 4 可搬式ウィンチ

2 救助技術の強化

多種多様化する人命救助事案に対して身体の鍛錬と救助技術を習得するとともに、他都市との合同訓練を通じ、大規模災害への広域的な連携強化を図ることを目的としています。

(令和7年中)

訓練等区分	月 日	場 所	参加人員	内 容
3市水難救助 合同訓練	4月25日	相模川 座架依橋付近	40人	相模川において水難救助事故等が発生した際、近隣消防本部が早期に協力体制を確立し、迅速・的確な救出活動及び更なる広域的な連携強化を目的とする合同訓練。
電力設備における 高所救助訓練	11月6日	東京電力パワー グリッド株式会社 相模原研修 センター	80人	架空送電設備の高所で発生した救助事案を想定した実践的な救助訓練を県内消防(局)本部と実施。
緊急消防援助隊 関東ブロック合同訓練	11月12日 11月13日	茨城県内 各訓練会場	993人 (全消防本部)	茨城県内での地震に起因する大規模災害を想定し、実践的な訓練を実施する。緊急消防援助隊及び各関係機関との連携強化を図ることを目的とする合同訓練。
国道246号線多重事故 救助3市合同訓練	11月25日	日産自動車株式会社 テクニカルセンター	34人	国道246号線の災害において、各関係機関が相互連携による迅速な災害活動を目的とする合同訓練。

3 救助関係主要機械器具等一覧表

(令和8年4月1日現在)

用途	一般救助用器具								重量物排除用器具				
名称	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤーはしご	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サーバイバースリング	救助用平担架	マンホール救助器具	救助用簡易起重機	油圧スプレッダー	油圧ジャッキ	
数量	12	17	3	1	1	22	6	2	2	1	2	2	
用途	重量物排除用器具				切断用器具								
名称	救助用支柱器具	可搬式ウインチ	空気ジャッキ型 マット式	チェーンブロック	油圧切断機 (カッター)	(エアソー) 空気鋸	エンジンカッター	電動カッター	(酸素溶断器) ガス溶断器	チェーンソー	鉄線カッター		
数量	1	6	2	1	2	2	20	8	1	33	33		
用途	検知・測定用器具					破壊用器具			呼吸保護用器具				
名称	複合ガス検知器 (可燃性ガス警報器含む) (酸素濃度測定器及び 放射線測定器含む)	(ポケット型含む) 放射線測定器	有毒ガス検知器	化学剤検知器	生物剤検知器	削岩機	ハンマードリル	携帯用コンクリート 破壊器具	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	送排風機	
数量	18	49	3	1	0	2	2	2	68	5	2	10	
用途	隊員保護用器具									水難救助用器具			
名称	防毒マスク	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱服	放射線保護服	陽圧式化学防護服	化学防護服	水中スピーカー	(ダイブコンピュータ) 水中時計	水中カメラ	潜水器具一式
数量	68	19	10	10	10	7	5	20	154	2	2	1	10
用途	水難救助用器具				高度救助用器具					その他の救助用器具			
名称	救命胴衣	救命ボート	船外機	流水救助器具	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	画像探索機	地震警報器	地中音響探知機	除染設備一式	エアータント	ドローン	レスキュー プラットフォーム
数量	148	9	9	79	17	1	2	1	1	2	3	3	0